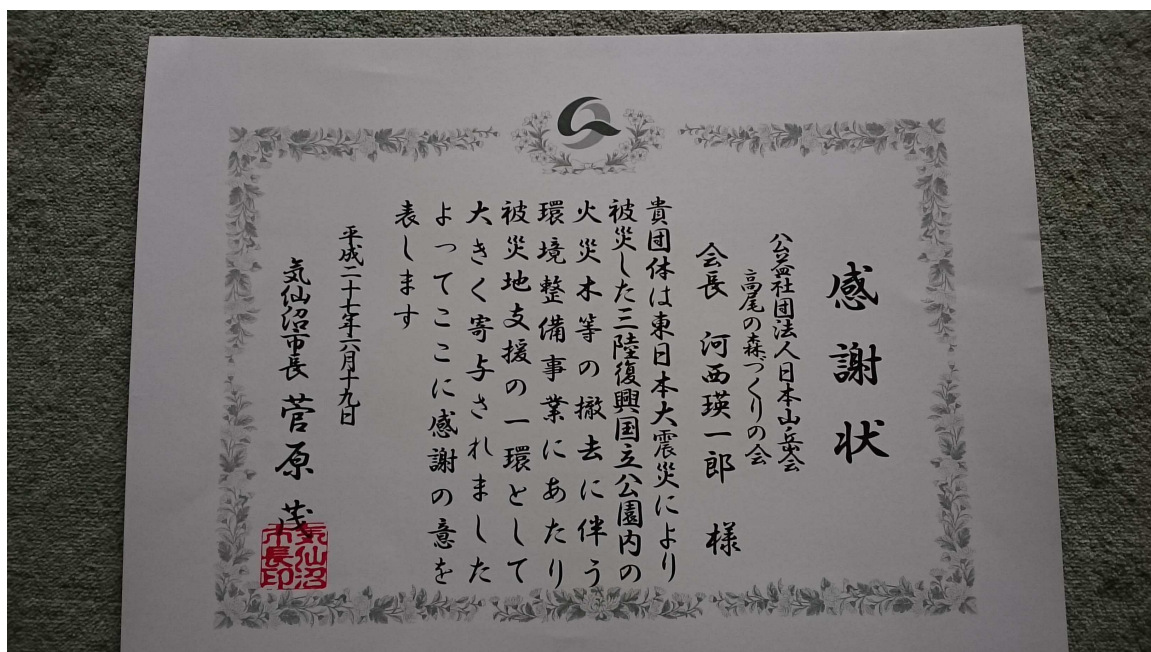


第9回気仙沼プロジェクト速報

2015年6月19日～22日に第9回気仙沼プロジェクトが大島で行なわれました。
今回は気仙沼市長より大島地域の支援活動団体に対する感謝状贈呈式が19日にあり贈呈式に参加して来ました。プロジェクトを立ち上げた萬国谷さんが代表で感謝状を受け取りました。



翌日には三陸新報の新聞にもその様子が報道されました。



市役所を訪れた高尾の森づくりの会メンバー

火災被害の500本伐採

東京・高尾の森づくりの会 菅原市長から感謝状

大島

震災の津波と火災被害を受けた気仙沼市大島で、被害木の伐採を継続している山岳団体に19日、気仙沼市から感謝状が贈られた。会員は定期的に大島を訪れ、これまでに500本以上の木を伐採している。

団体は東京都八王子市の日本山岳会「高尾の森づくりの会」(河野西瑛一郎会長)。平成12年に発足し、同市の国有林178杉を対象にした森林整備を主に活動している。大島での活動は、震災後のボランティア活動がきっかけ。混乱期の中、島内で宿泊場所を確保できたことが理由という。

島は津波だけでなく、海上の浮遊物をつたった火による火災が拡大。多くの被災木が残った。同会では24年6月から「東日本森林復興支援気仙沼大島プロジェクト」として活動を始め、年2回のペースで島を訪れ、亀山や小田の浜海水浴場周辺などで、これまでに約200人が540本の木を伐採した。

この日は、プロジェクトを立ち上げた会員の萬國谷慶子さん(87)ら6人が市役所を訪れ、感謝状を手渡した。菅原市長は「緑の真珠とうた

われた大島の復活が危惧されたが、自然を大切に思う皆さんが大島へ入ってもらい、復興への一歩をつくってくださった」と感謝した。萬國谷さんは「大島

に入ったとき、最初は何をしたらいいかわからなかった。感謝状をいただいたき、会員みんなの励みになる」と話した。

河北新聞にも報道されました。



会員が集合した中で改めて表彰状の披露がありました。



翌日からは亀山と龍前崎に別れての作業が行なわれました。
準備体操をして出発です。



天候に恵まれて作業も順調に行なえました。



作業の様子です。



枯れた太い松は重くて運ぶのもたいへんです。道路まで転がしたらたいへんです。



作業後の BBQ で楽しく歓談しました。おなか一杯です。





新聞記事を見てヤマヨ水産様からカキの差し入れがあり蒸牡蠣にいただきました。



ホタテも大きくてとっても美味しかった。作業の疲れが吹き飛びますね。



作業の休憩時にはスイカの手配をしてありました。甘くて美味しい！



全員集合で椿荘前で参加者全員での記念撮影です。



そして大きな怪我も無く無事第9回気仙沼プロジェクトは終了しました。
プロジェクトリーダー、事務局、参加者の皆さん、お疲れ様でした。



文責・写真：HP 担当 十河